

1 自己評価及び外部評価票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072900349		
法人名	社会福祉法人 幸充		
事業所名	グループホームくらし		
所在地	長野県北安曇郡松川村字南神戸4360番地19		
自己評価作成日	平成29年9月18日	評価結果市町村受理日	平成30年2月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>当ホームでは、日常的に外食やドライブ等行ったり個々の外出(美容室や地域の集まり等)の希望について、出来る限り職員体制を整え希望に応じられるようにしている。地域の行事にも希望者を募り出来る限り参加している(三九郎、納涼大会、ふれあい会等)。また、四季折々の雇の行事や畑での野菜作り、花壇や庭での花作りなどで季節を感じてもらい、生活を楽しくもたえるように心がけている。</p> <p>食事については、必ずご利用者と買い物行き、毎日の献立をご利用者とともに立て、ご利用者の希望する食事の提供を行っている。また、日用品や雑貨についても、ご本人と買い物に出かけ、好きなものを選んで頂けるようにしている。</p> <p>ご利用者個々にはそれぞれの主治医がいるが、健康管理面ということからも安心して生活していただけるよう、看護師(介護員兼務)の配置や、併設老健看護師と協力体制をとり、夜間や緊急時にも速やかな対応が行えており、ご利用者の健康面の相談も随時行っている。</p> <p>入浴に関しては、特に入浴日を設定せず、毎日好きな時間に入浴して貰えるようにしている。また、ご利用者の精神面のリズムなどを考慮し、心理的に負担の少ない時間帯に入浴してもらえよう心掛けている。</p> <p>ご利用者の個々の心身状態、体力等にあわせ、より個別的な活動・対応を心がけ、ご利用者に無理のないより安全で安心できる生活を提供していきたい。</p>

事業所の基本情報は、公表センターで閲覧してください(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyouCd=2072900349-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 環境・福祉事業評価センター
所在地	長野市南高田2-5-16
訪問調査日	平成29年10月13日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>2か月に1回開催の運営推進会議には、利用者、家族の出席があり意見等吸い上げている。意見を言いくそうな時には場を変えて話しやすい雰囲気の中で要望等確認をしている。また面会、行事等で訪問された際に意見をいただき運営に反映するよう努めている。</p> <p>日々の生活の中でその人らしい生活を送っていただくように支援している。職員の信頼関係は深く、お互いの言動、対応等について意見を出し合う中で、自ら気づき、切磋琢磨している。利用者ひとり一人の生活の充実、信頼関係に繋がっている点は貴事業所の優れている点であると評価しています。</p>

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。

ユニット名()		項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる。 (参考項目: 23, 24, 25)	63	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど揃っていない	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目: 9, 10, 19)	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目: 18, 38)	64	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目: 2, 20)	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目: 38)	65	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目: 4)	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目: 36, 37)	66	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	職員は、活き活きと働いている。 (11, 12)	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目: 49)	67	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目: 30, 31)	68	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目: 28)		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない		